

じゅうはちけんほしかぶとはち
十八間星兜鉢

- ◇ 指定日 平成21年5月21日
- ◇ 所在地 腹帯
- ◇ 所有者 個人

十八間星兜鉢は鎌倉時代末期(約700年前)に製作されたものです。兜は、18枚の鉄の板を星とよばれる^{びょう}鉾でつなぎ合せて作られています。

板の継目と継目のあいだを^{けん}間といい、継目に沿って見られる突起が星になります。

兜は戦で着用するため、壊れてしまったり、鉄製のために錆びてしまったりと後世に伝わるものは少ないと考えられます。

兜の前後方向の径24cm、高さ23.5cm、重さ1,041gとなっています。

